

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【公表番号】特表2009-540060(P2009-540060A)

【公表日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-046

【出願番号】特願2009-514449(P2009-514449)

【国際特許分類】

C 09 J 5/00 (2006.01)

C 09 J 163/00 (2006.01)

C 09 J 11/04 (2006.01)

G 02 B 6/36 (2006.01)

【F I】

C 09 J 5/00

C 09 J 163/00

C 09 J 11/04

G 02 B 6/36

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月14日(2010.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

・シリカナノ粒子を表面修飾する工程であって、

-(a)シリカナノ粒子と、(b)加水分解性基を有するシラン表面修飾剤と、(c)

水と、ここで混合物中に存在する水のモル数は加水分解性基のモル数より大きい及び(d)任意の水混和性溶媒とを含む、表面修飾混合物を提供し、

-前記表面修飾混合物を少なくとも50℃に加熱して、前記シリカナノ粒子に共有結合した表面修飾剤を有する非凝集表面修飾シリカナノ粒子を形成することを含む、シリカナノ粒子を表面修飾する工程と、

・前記非凝集表面修飾シリカナノ粒子及びエポキシ樹脂を含む分散液を形成する工程と、

・少なくともほとんどの前記水及び前記任意の水混和性溶媒を除去する工程と、

・前記除去工程後カチオン性光開始剤を添加する工程と、

を備える、流動性接着剤組成物を調製する工程；

前記接着剤組成物を第1物品と第2物品の間に配置する工程；及び

化学線の存在下で前記接着剤組成物を硬化して前記第1物品を前記第2物品に接着する工程、を含む、接着方法。